

行政区再編

役場まちづくり政策課 (TEL 576 - 2111)

昨年から全町各地区の連合区長会を通じて、行政区の再編について協議・検討を重ね、この度、市街地区と南浦幌地区の再編案を提示しました。他の地域についても、早い時期に再編案を提示します。

■行政区の再編

浦幌町行政区設置条例では、行政区の設置基準戸数を20戸以上（市街地区は50戸以上）と定め、現在、全町には66行政区が設置されています。しかし、近年の少子化や過疎化の影響を受け、市街地区では10行政区、市街地以外の地域で21行政区が設置基準を下回っている状況にあります。町ではこのことを、町内活動や会館維持などに多分な影響を与え、地域振興に大きく支障をきたしていると考え、効果的・効率的な行政運営を行うために適正な規模への行政区再編に取り組んでいます。行政区の再編に向けては、解決しなければならぬ課題

も数多くありますが、各地域における自主性・多様性を尊重しながら、皆さんとともに考え、解決していきたいと考えています。

■再編の基本的な考え方

- ▽設置基準以下の行政区の解消を図る。
- ▽再編にあたって行政区を分割しない。
- ▽再編は隣接行政区をもって行う。
- ▽再編後の行政区では、「町に關わる行政区」と「町内会的活動（親睦など）を行う旧行政区」を区分することができる。
- ▽再編後は広域となることから、回覧などは旧行政区へ配布するなどの対応を行う。

■行政区再編案

| 関係行政区名 | 世帯数 |
|-----------------|-------|
| 南浦幌地区行政区 | 269 |
| 平和、吉野 1～3区、愛牛 | 84 |
| 共栄、統太 | 70 |
| 生剛、養老、朝日、豊北 | 57 |
| 十勝太 1～2区、静内 | 58 |
| 市街地区行政区 | 1,565 |
| 帯富、北栄 1区 | 92 |
| 万年、光南 | 113 |
| 本町、末広町、材木町 | 68 |
| 栄町 1～2区 | 61 |
| 緑町 | 58 |
| 新町、桜町 | 81 |
| 東山町 1～2区 | 121 |
| 幸町 | 81 |
| 寿町 | 102 |
| 住吉町 1区 | 78 |
| 住吉町 2区 | 80 |
| 南町 1区 | 100 |
| 南町 2区 | 60 |
| 宝町 1区 | 51 |
| 宝町 2～3区 | 90 |
| 北町 1区 | 80 |
| 北町 2区 | 82 |
| 北町 3区 | 91 |
| 北栄 2区 | 76 |

■浦幌町の行政区の歴史

終戦と同時に国内のあらゆる団体、組織のあり方が再検討され、戦時体制下の末端組織として任命しました。

織としてあった町内会・部落会は、昭和21年1月末に解散するよう命じられました。住民組織として、長い歴史のあった町内会・部落会は、行政面や町民生活に果たす役割が大きく、役場からの諸連絡や食糧などの配給事務を円滑に運営できなくなりました。苦渋の策として、それまでの町内会・部落会ごとに連絡員を置くことにし、各地区から推薦された方を「駐在員」として任命しました。

をすることはできませんでした。そのため行政区設置条例が制定され、駐在員制度を廃止して、町内・部落の新しい住民組織の整備が行われました。新たに行政区を設置し、各行政区ごとに区長を置き、分担を決めて、有効適切な住民活動の実行をする、というものです。浦幌の新しい行政区と区長の任命は、昭和28年4月1日にはじまりました。現制度になり50年以上が経過していますが、世帯数の増加によって分区したことはありません。

小学6年生を対象に町政への関心と理解を深める目的で実施した作文コンクール「太陽への手紙」の入賞者が決まり、八木町長が各校を訪れ、最優秀賞など入選者への記念品の授与を行いました。

町内4校から52作品の応募があり、次代を担う小学生の夢のある視点で描く将来の浦幌町をテーマに提案や意見を作文にしていたいただきました。各校を訪れた八木町長は、児童と一緒に給食を食べ懇談。

「浦幌は自然に溢れたい町皆さんの夢や希望を叶えられるよう努力したい」と話していました。応募のあった作文は、作品集を制作し各校と町立図書館に設置します。

■最優秀作品「私達の願い」
塚田愛さん(浦幌小学校6年)

私は小学1年生になる時にお父さんの転勤で浦幌町に引っ越して来ました。浦幌町の前は音更町に住んでいました。大きな公園や大きなお店があって、とても便利なところでした。だから、浦幌町に来た日は少しさびしい気がしました。あれから6年近く住んでい

ます。住んでみると浦幌町は、山や海があり自然にかこまれたおだやかな町だと思います。森林公園、図書館、スポーツセンター、プールなどの施設がそろっているし、新しくできてきれいなので、利用していて気持ちがいいです。街並みもきれいだと思います。特に森林公園は、私の好きな場所です。ウサギに草を食べさせたり、カエルやおたまじやくし

や虫などを捕まえたり、アスレチックで遊んだり、つり橋を歩いたり楽しい場所です。私達が安全に自然にふれられて、楽しく遊べる場所をこれからも増やしてほしいし、大切に残してほしいと思います。

残念なことに、何年か前から花火大会や砂のアートなど、いくつかのイベントがなくなってしまうました。森林公園の草の上にねころんで見た

花火は、とても大きく、きれいだっただのを覚えています。今はこの町村も財政難とかで、どんなイベントが減らされていきます。でも、そのために私達の楽しみが一つ一つ減っていきます。とてもさびしいです。

イベントを一つ考えるだけでも時間やお金がかかるので大変だと思いますが、なるべくお金をかけないで、私達が楽しく参加できるイベントを増やすのではなく、一つでも増やしてほしいと思います。それが私の願いです。

■入選者(敬称略) ▽優秀賞
飯田竜輝(浦幌小学校)、大越紘子(同)▽入選
秋田紀恵(同)、松田ちなみ(同)、広富彩伽(同)、岡郁也(厚内小学校)、砂原彰太(上浦幌小学校)、北原璃奈(上浦幌中央小学校)

■小学6年生を対象に町政への作文コンクールを実施

お金をかけず楽しく参加できる
イベントを増やしてほしい

給食を一緒に食べながら懇談。「町村合併はしないでください」「なぜ、財政状況が厳しくなってますか?」「アイスアリーナを通年開館してください」などの質問や提案がありました。

